

横須賀市民アンケートの概要

横須賀市では、「横須賀再興プラン(2022～2025)」に基づき、この横須賀で暮らすすべての人々がお互いを認め合い、慈しみあい助け合うことができる「誰も一人にさせないまち」の実現を目指しています。

今回のアンケートでは、市民の皆さまの生活意識や横須賀市の取り組みに対する実感をお伺いしました。

調査で得られた結果は、現在の取り組みの改善や、今後の政策・施策の立案にあたって、基礎的なデータとして活用してまいります。

【調査概要】

調査対象	15 歳以上～89 歳以下の市民 3,000 人 (令和 7 年 (2025 年) 1 月 1 日現在：住民基本台帳から無作為抽出)
調査方法	・対象者に調査票を郵送配布 ・回答方法は、郵送とインターネットのいずれかを選択
調査期間	令和 7 年 4 月 7 日～4 月 27 日 ※発送日－投函締切日
回収数	1,453 件 うち、インターネット回答；346 件
回収率	48.4% うち、インターネット回答；23.8%

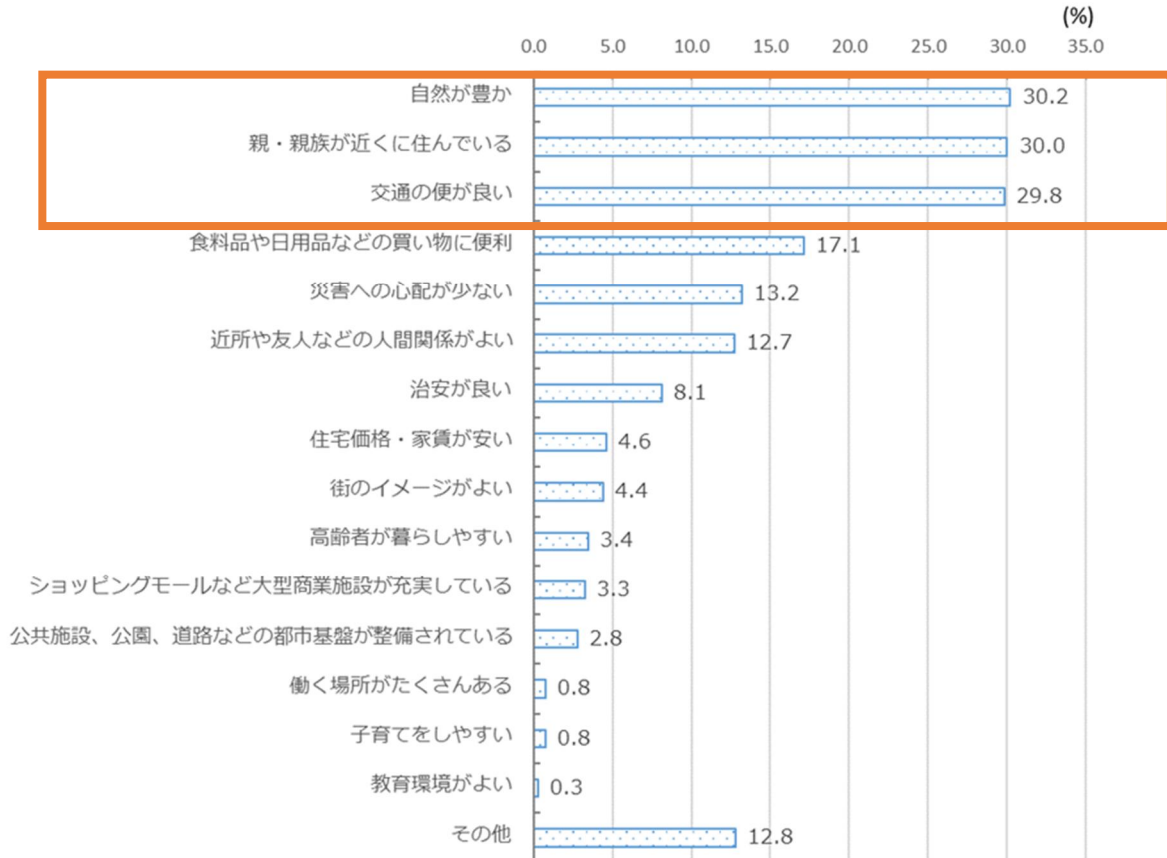
【調査結果】

I 定住意識

住環境への評価は高く、定住意向も約 8 割

- 「暮らしやすい」、「住み続ける」と回答した割合は約8割と高い。「自然が豊か」「親・親族が近くに住んでいる」「交通の便が良い」が定住意向の理由として上位に選択されている。
- 20 代以下の「住み続ける」は 5 割未満と低い。進学・就職等が影響していると考えられる。
- 上記の回答傾向は、前回調査(令和4年度実施)とほぼ変わらない。

問4-1. 定住意向理由(複数回答)(N=1,046)【報告書p17】

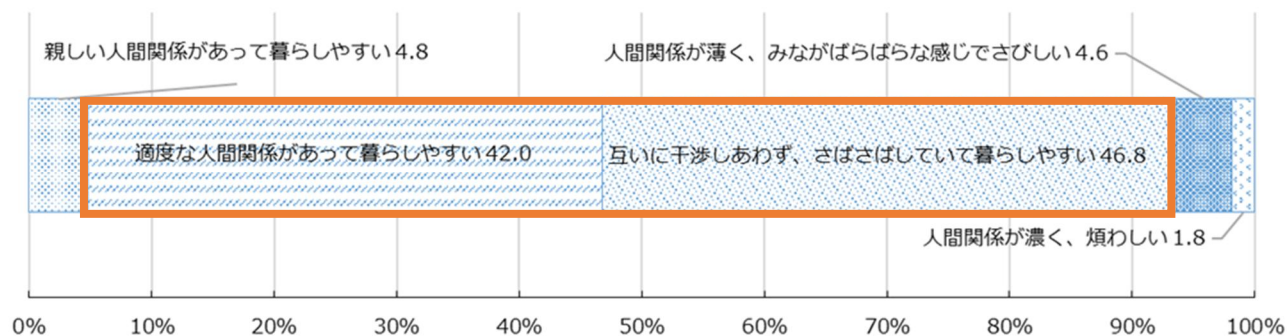


Ⅱ 近所の方々や地域との付き合い

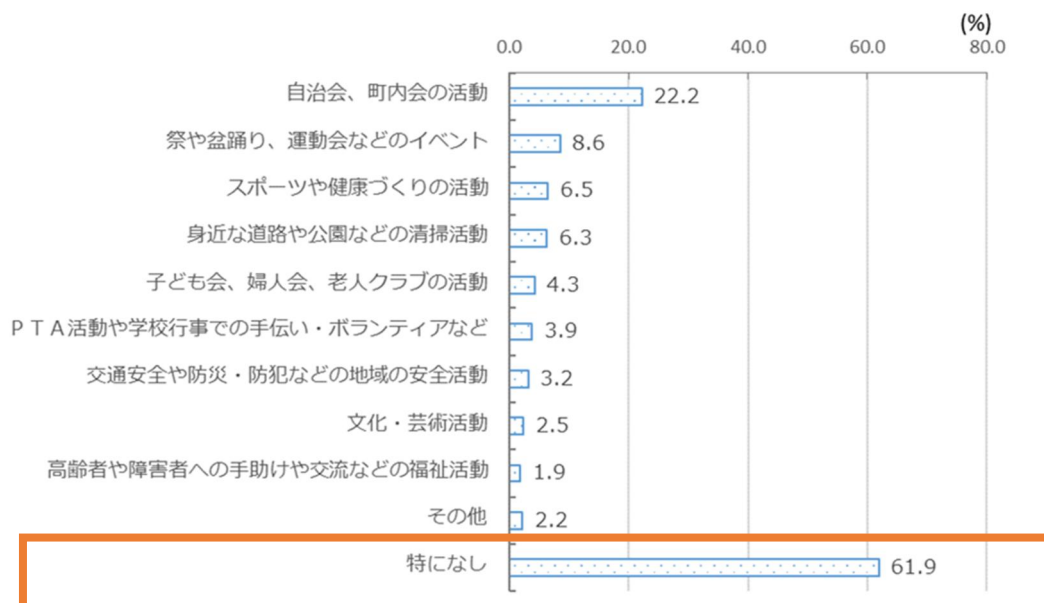
近所づき合いは、ちょうど良い距離感。他方、地域活動の担い手は不足

- 近所との付き合い方では、「道で会えば挨拶ぐらいする」「たまに立ち話をする」といった『緩やかな関係』が約 8 割。
- 近所との関係性について、「互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい」「適度な人間関係があって暮らしやすい」と感じている人が約 9 割を占める。全体的に、現在の距離感に暮らしやすさを感じていることが見受けられる。
- 他方、地域活動への参加状況をみると「特になし」が 6 割を超えており、これらの結果から、地域の担い手不足という状況がうかがえる。
- 上記の回答傾向は、前回調査（令和4年度実施）とほぼ変わらない。

問6. 近所とのつき合いの感じ(N=1,426 人)【報告書 p30】



問7. 地域での参加活動(複数回答)(N=1,426 人)【報告書 p32】



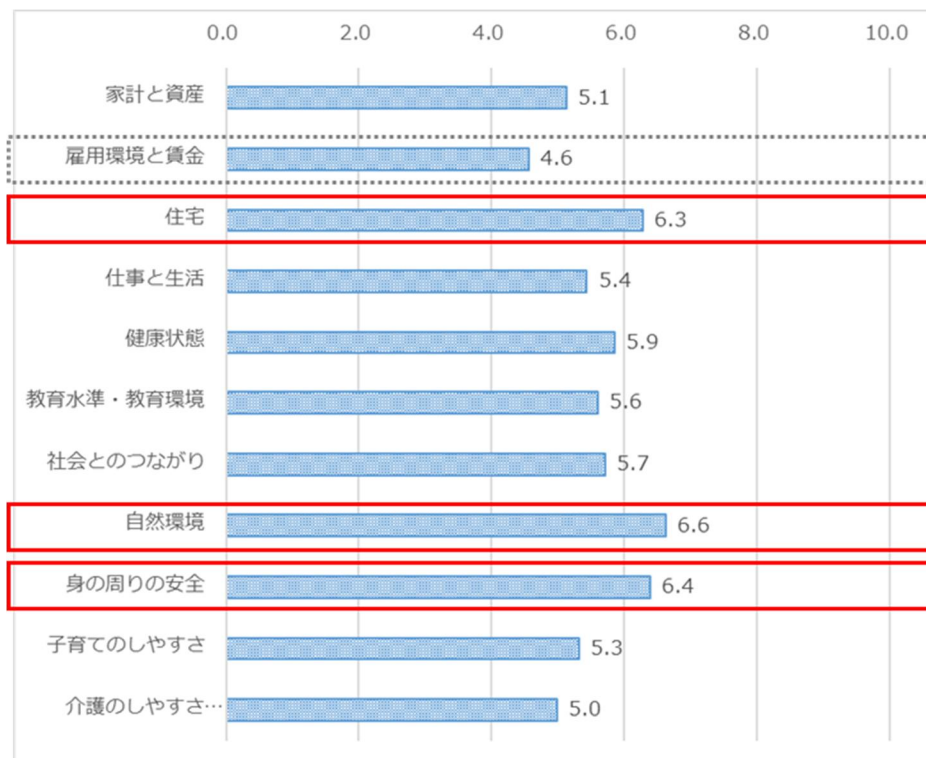
Ⅲ 生活意識

現在の生活環境に関しては、「自然環境」「身の周りの安全」「住居」への満足度が高い

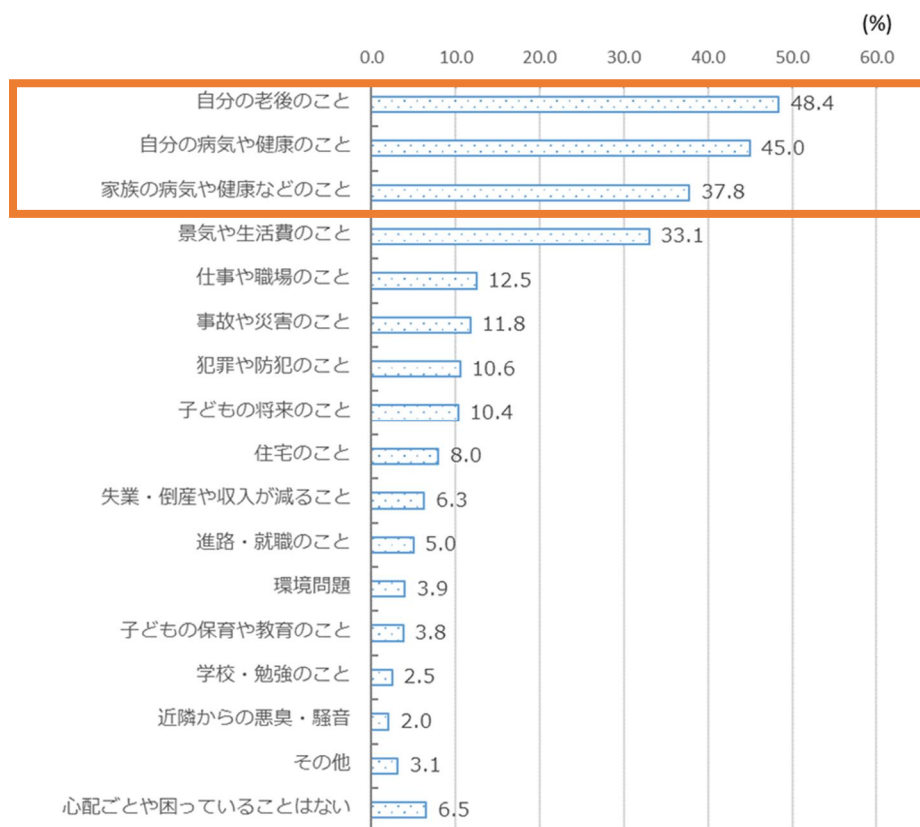
現在の生活の心配や困りごとは、「自分の老後」「自分や家族の健康」が上位を占める

- 「生活全体の満足度」は、10 点中 6.1 点。分野別では「自然環境」「身の周りの安全」「住居」が高く、「雇用環境と賃金」は低い。
- 「心配ごとや困っていること」は、「自分の老後」「自分や家族の健康」が多く、5割近くに上り、老後や健康に対する不安を抱いている様子がうかがえる。
- 上記の回答傾向は、前回調査（令和4年度実施）とほぼ変わらない。

問9. 分野別満足度【報告書 p36】



問 12. 心配ごとや困っていること (N=1,419 人)【報告書 p41】

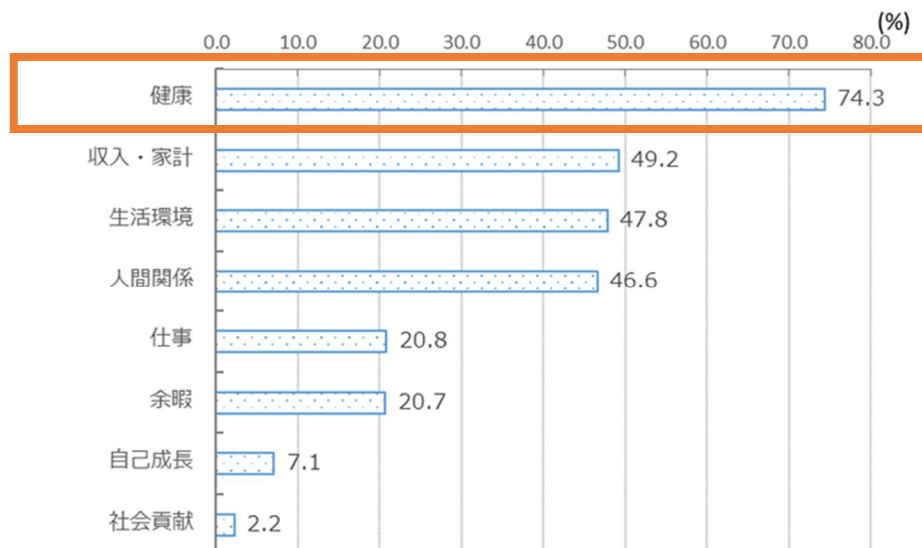


IV 幸福度

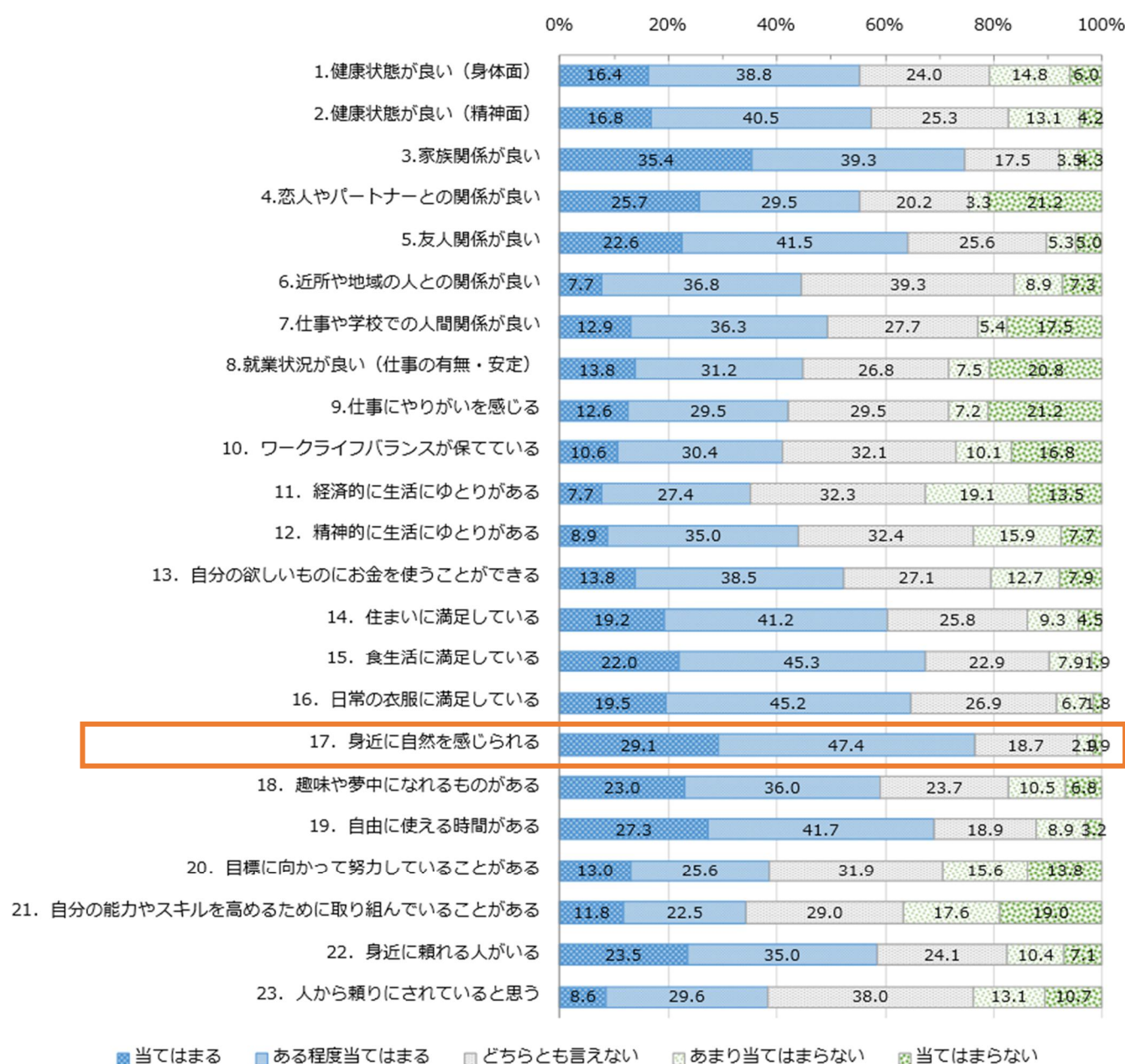
幸福度は、10 点満点中 6.6 点。幸福と健康は、密接に関連。さらに、自然環境が幸福度に影響

- 「幸せの程度」は、10 点中 6.6 点で、類似の内閣府の調査結果とほぼ同様。
- 幸福感の判断では「健康」が 7 割を超え、最も多く、幸福と健康の関連は強いといえる。
- 「幸福感を判断する際の実感」では、「身近に自然を感じられる」が 76.5%と最も高く、横須賀の海やみどりなどの自然環境が強く影響していると考えられる。

問 14. 幸福感を判断する上で重視したこと(N=1,426 人)【報告書 p45】



問 15. 幸福感を判断する際の実感【報告書 p47】



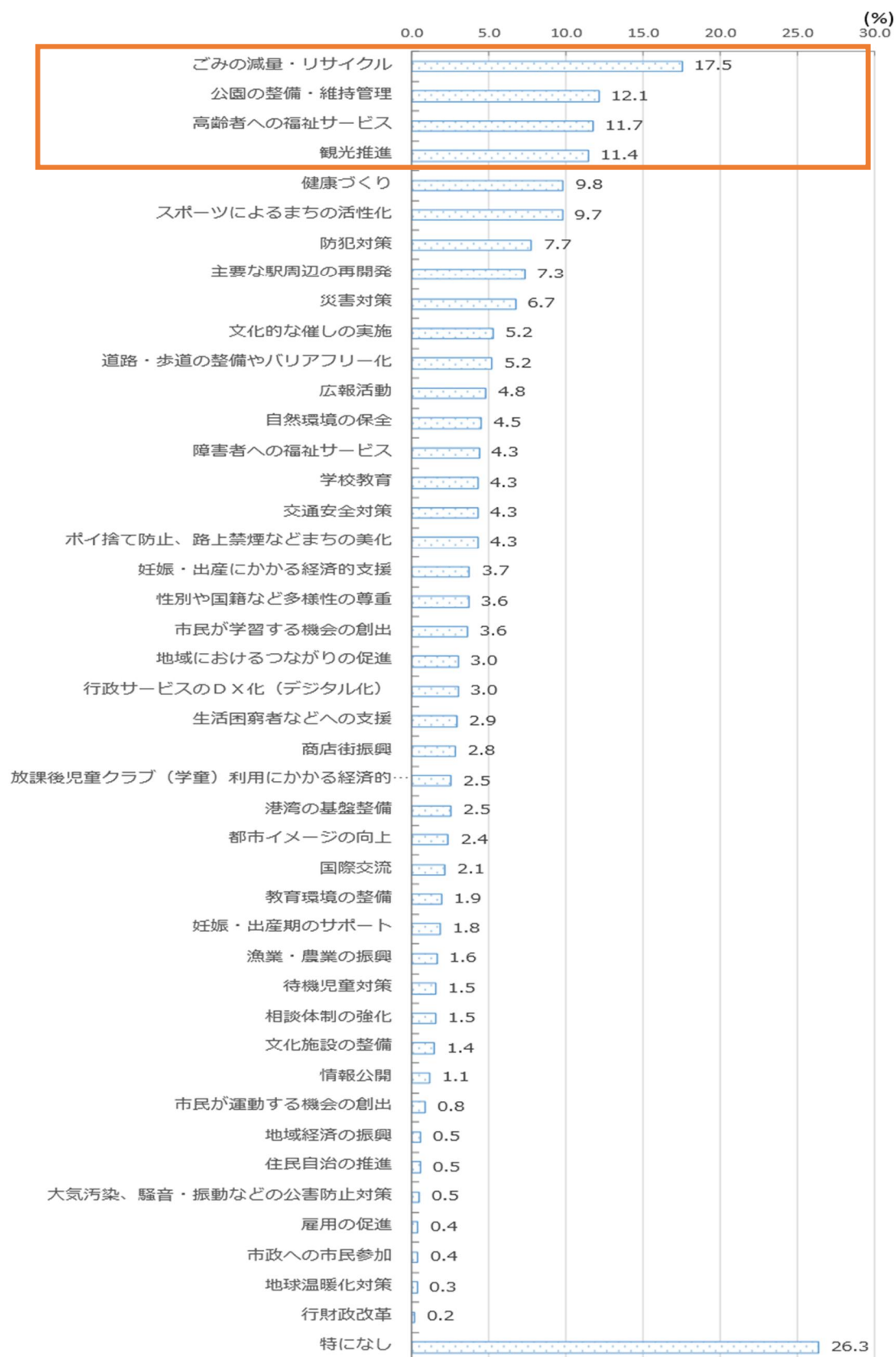
V 横須賀市の主な取り組み

十分に行われている取り組みの上位は、「ごみの減量・リサイクル」「公園の整備・維持管理」「高齢者への福祉サービス」「観光推進」

特に力を入れてほしい取り組みは、「高齢者への福祉サービス」「災害対策」「防犯対策」

- さまざまな取り組みの中で、「十分に行われている」取り組みは、「ごみの減量・リサイクル」。次いで「公園の整備・維持管理」「高齢者への福祉サービス」「観光推進」が並ぶ。
- さらに力を入れてほしいと思う取り組みの上位は、「高齢者への福祉サービス」「災害対策」「防犯対策」。安全・安心に直結する取り組みへの期待が見られる。

問 19. 十分に行われていると思う取り組み(N=1,317 人)【報告書 p59】



問 20. 特に力を入れてほしいと思う取り組み(N=1,344 人)【報告書 p60】

